

大阪・関西の再生 ⇒ 「集客推進」が絶対条件

関西の再生は中心都市である「大阪」の再生から。
しかし、産業構造転換の遅れにより、
新産業の集積が少なく、大阪は低迷を続けている。

新産業の育成・推進



集客産業

『感動集客特区』を突破口に、官民協働で集客ポテンシャル活用を
～集客に資する規制・制度改革を軸に～

即効性が高く裾野も広いため経済波及効果高い
さらに、内外の人や情報の草の根的交流が
“都市発展の大きなエネルギー”となることが期待

集客都市・大阪 ⇒ 国内外の人々が 大阪でしか味わうことのできない文化魅力 に感動する「感動文化集客都市」を目指すべき

■ 大阪の集客コア

- (1) 大阪城や難波宮などの豊かな「歴史遺産」
- (2) 商都として生きる「なにわ文化」
- (3) 自立性、もてなしの心を持つ大阪の「人々」

ポテンシャルはあるが、感動する
シーンの演出が不十分

感動への商品化

『感動集客特区』

集客の妨げとなっている規制や制度の思い切った
緩和を軸とした「官民協働の集客ポテンシャル活用」に取り組むため、2つのエリアを『感動集客特区』とする。

【集客コア1】

大阪城・難波宮

大阪最大の歴史遺産
・我が国最古の「難波宮」
・太閤秀吉の「大阪城」

【集客コア2】

御堂筋南域

(南船場・長堀・心斎橋、道頓堀周辺)

商都として生きる「なにわ文化」
・商売の街の伝統
・豊かな食文化